（業務用参考資料）

Market Watching

市場レポート

テーマ：Weekly Market Report（2005年10月10日～）　発表日：2005年10月11日（火）

～インフレ率が高まり始めたときに織り込むリスクは？～　(No.MW－28)

第一生命経済研究所　経済調査部
担当　嶌峰　義清　(03-5221-4521)

今週のスケジュール

今週の経済指標・イベント・注目材料

発表日	国	指標・イベント	注目度	ｺﾝｾﾝｻｽ	レンジ	前回	備考
10月10日（月）	日本	祝日					
	欧州	独貿易収支（８月）		＋116		＋145	億ユーロ
	米国	祝日（休場は債券のみ）					
10月11日（火）	日本	機械受注（８月）：除船電・民需	★★★	＋2.3%	▲2.0～＋5.7%	▲4.3%	前月比
		景気ウォッチャー（９月）・現状判断ＤＩ	★	50.8	50.8～51.0	50.5	
	米国	ＦＯＭＣ議事録（9/20分）					
10月12日（水）	日本	日銀金融政策決定会合（11日～）		据え置き		据え置き	
		消費動向調査（９月）・消費者態度指数	★	47.0	46.6～49.1	48.4	一般世帯
		月例経済報告					
		金融経済月報					
	欧州	英失業率（９月）		2.8%	2.8～2.9%	2.8%	
	米国	５年債入札					
10月13日（木）	日本	国際収支（８月）・経常収支		11633	8640～13995	16498	億円
		マネーサプライ（９月）		＋1.7%	＋1.7～＋1.9%	＋1.7%	前年比
		銀行貸出残高（調整後）（９月）	★			＋0.2%	前年比
		５年債入札					
	米国	貿易収支（８月）	★	▲595	▲614～▲550	▲579	億ドル
		輸入物価（９月）	★★	＋1.0%	0.0～＋2.2%	＋1.3%	前月比
		10年インフレ連動債入札					
10月14日（金）	日本	企業物価指数（９月）・国内	★	＋0.2%	＋0.1～＋0.3%	＋0.2%	前月比
	米国	消費者物価（９月）	★★★	＋0.9%	＋0.5～＋1.2%	＋0.5%	前月比
		同コア（９月）	★★★	＋0.2%	＋0.1～＋0.3%	＋0.1%	前月比
		小売売上高（９月）	★	＋0.4%	▲0.8～＋1.2%	▲2.1%	前月比
		同除自動車（９月）	★★	＋0.7%	▲0.1～＋1.5%	＋1.0%	前月比
		ミシガン大学消費者センチメント（10月速報	★★★	80.0	77.5～84.0	76.9	
		鉱工業生産（９月）	★★	▲0.5%	▲1.5～0.0%	＋0.1%	前月比
		設備稼働率（９月）		79.3%	77.7～79.7%	79.8%	
		企業在庫（８月）		＋0.2%	▲0.2～＋0.7%	▲0.5%	前月比
10月15日（土）		Ｇ20・16日まで（北京近郊）	★				

（注）市場コンセンサス、予測レンジは各種ベンダー調査に基づく
注目度は筆者

今週の注目点

今週は、週末にかたまっている米主要月次経済指標が最大の注目点。ここのところ、マーケットでは世界経済が循環的に回復感を強め始めたことは織り込んだ上で、それに伴うインフレリスクなどについて吟味し始めている。なかでも米国については、成長力が強い一方で、日欧に比べて需給ギャップがタイトになっていると判断される。ガソリンや天然ガスに見られるように、エネルギー価格の持続的な上昇が続いているが、特に米国ではその影響が顕著であり、需要の好調さから考えれば他の製品への価格転嫁の条件が最も揃っていると言える。

こうした環境下、ＦＲＢはインフレに対する警戒感を滲ませる発言を繰り返している。これは、いわば教科書通りの対応であり、いまさら驚くようなものではないはずだが、マーケットの反応は敏感であった。察するに、マーケットはインフレ圧力が高まるようなファンダメンタルズにあることは分かっているものの、それが現実のものになるとは全く考えていないようだ。しかし、実際にインフレが加速するかどうかはともかく、こうした環境で中央銀行はどのような対応を取るかと言えば、それは常に“インフレ予防”であるは

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

ずだ。

インフレリスクについては、企業や消費者の価格見通しが上昇していることは気に掛かる。インフレ期待の高まりそのものがインフレに繋がる最大の要素であるからだ。無論、インフレ率が高まってくるとしても、かつてのように年率で二ケタもの伸びになるとは考えられない。しかし、エネルギー価格とコア物価との相関は、その転嫁率は大きく変わっているとはいえ、限界的な方向性という観点では昔から何ら変わっていないことが確認される。つまり、エネルギー価格の持続的な上昇は、必ずと言っていいほど他の財やサービスの上昇に繋がるという関係は今でも崩れていないのだ。それが、たかだか年率３％台への押し上げにとどまるようなものであるとしても、２％から３％へと加速していくなかでは、中央銀行や市場はインフレ加速のリスクを織り込まざるを得ないのではないか。

【債券市場】：図表は３～４ページ

先週は、世界的に金利は小幅上昇。米国ではインフレ懸念の高まり、ユーロ圏では景気回復感の強まり、日本ではデフレ脱却と量的緩和解除期待が金利上昇に繋がった。今週は、米欧でのインフレリスクに対する見方に注目。特に、週末の米消費者物価などは要注意。日本では、引き続き量的緩和早期解除のコンセンサスを取ろうとする日銀の前のめり具合が注目される。長短スプレッドは若干拡大に転じたが、もう少し長期ゾーンに上昇余地はある。

【株式市場】：図表は５ページ

先週は、世界的に株価は下落。米国でのインフレ懸念の高まりや、それに伴う金利上昇→米景気減速→世界景気減速懸念が、株価下落要因となった。今週は、週末に発表が集中する米月次指標が注目される。特に、ＣＰＩの注目度は久方ぶりに高まろう。日本では連休明けの機械受注が注目される。いずれも景気回復の方向性を不安にさせるような内容になるとは見込み難い。原油価格の騰勢が一服すれば、景況感も更に改善しよう。あとは、発表が始まる７～９月期の業績と、欧米でのインフレ懸念との綱引き。

【為替市場】：図表は６ページ

先週は、ドルは円に対して上昇、ユーロに対しては下落するなどまちまち。ＦＲＢの利上げ姿勢は当面変わらないとの見方がドルをサポートする材料となったものの新味には乏しく、ドイツでの政局不透明感後退など他通貨上昇要因もあり、全般的に方向感は見られなかった。今週は、週末に米主要月次指標の発表が固まっており、これが注目材料となる。ただし、それまでは大きなうねりはなさそう。

【商品市場】：図表は７ページ

先週は、原油価格は続落する一方、工業用原材料は上昇。各国の備蓄放出を背景とした世界的な原油需給緩和が、引き続き原油価格下落に繋がった。一方、循環的に世界経済が持ち直すとの見方が銅やアルミなどの上昇に繋がった。今週も、原油は需給緩和を背景に軟調な展開が続こう。一方、その他一次産品については、日米欧の経済指標で企業の景況感が強いことが確認されれば、一段高が予想される。

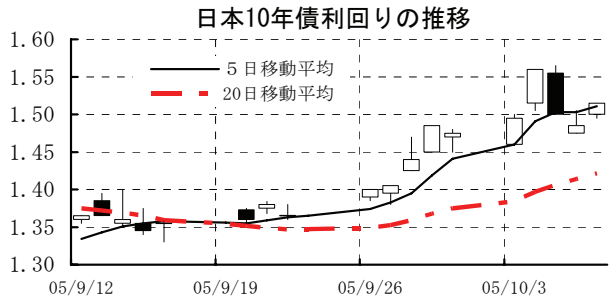
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

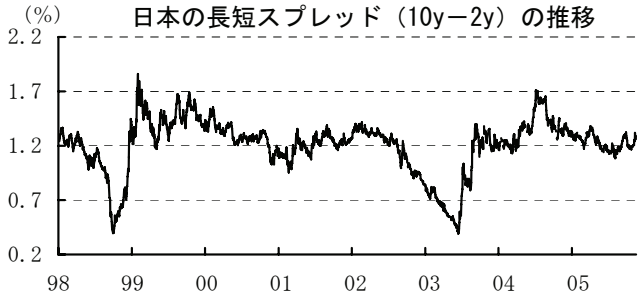
［債券市場］

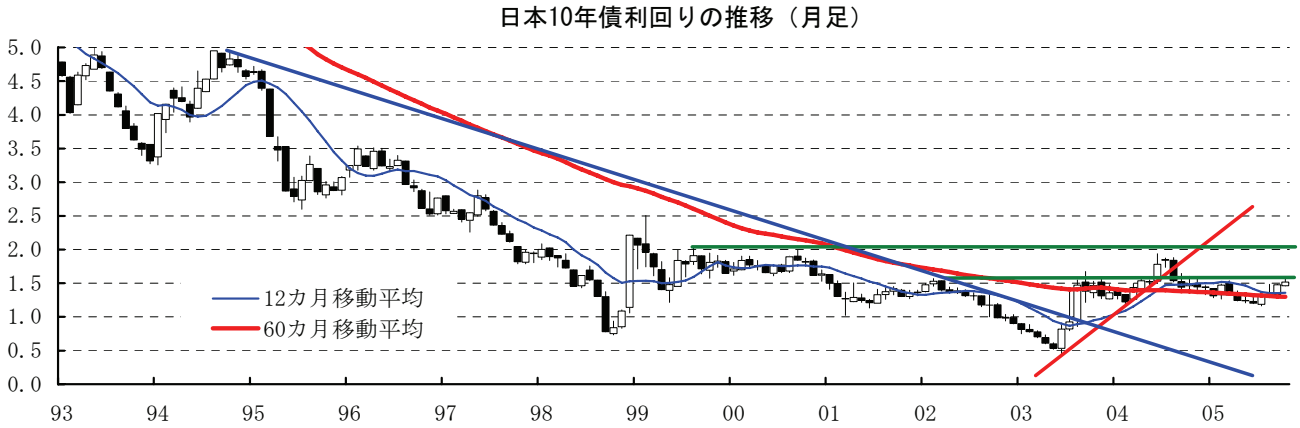
		直近値	直近までの変化率			過去の動き							
						月間						週間	
			１年前～	１月前～	前週末～	６カ月前	５カ月前	４カ月前	３カ月前	２カ月前	１カ月前	３週前	２週前
２年	日本	0.225	＋9	＋8	▲1	▲2	＋0	▲1	＋4	＋3	＋9	▲0	＋6
	米国	4.183	＋150	＋34	＋2	▲13	▲3	＋1	＋38	▲20	＋35	＋4	＋15
	イギリス	4.129	▲54	▲3	＋0	▲16	▲21	▲24	＋11	▲6	＋9	▲2	＋3
	ドイツ	2.461	▲13	＋30	＋7	▲24	▲7	▲16	＋23	▲5	＋20	＋2	＋13
	スイス	1.201	＋11	＋23	＋8	▲15	▲3	▲12	＋9	＋5	＋15	**▲6**	＋15.3
	スウェーデン	2.199	▲58	＋19	＋1	▲27	▲11	▲32	＋15	＋9	＋12	＋1	＋9
	ポーランド	4.362	**▲291**	＋5	＋6	▲1	▲30	**▲55**	＋6	▲26	▲6	**▲6**	＋13.0
	カナダ	3.351	▲0	＋33	▲1	▲20	▲10	▲14	＋21	▲4	＋35	＋6	＋12
	メキシコ	8.500	▲39	**▲25**	＋10	＋18	**▲62**	▲28	＋2	**▲49**	**▲32**	▲3	**▲7**
	ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ	6.110	▲17	＋25	＋2	▲23	▲11	▲1	**▲9**	▲4	＋22	＋1	＋15
	オーストラリア	5.284	＋12	＋22	＋0	**▲35**	▲6	▲4	▲1	▲12	＋27	＋2	***＋16***
	韓国	4.665	＋106	＋45	＋8	▲14	▲12	***＋34***	＋17	▲9	***＋46***	***＋15***	▲6
	シンガポール	2.280	＋69	＋22	**▲3**	▲1	▲1	▲12	＋7	＋1	＋28	＋6	＋5
	タイ	4.215	***＋182***	***＋46***	***＋34***	＋1	***＋6***	＋11	***＋41***	***＋29***	＋16	＋2	▲2
	インド	6.139	＋42	＋11	＋4	***＋26***	▲15	＋3	▲8	＋5	＋5	＋3	＋3
10年	日本	1.515	▲8	＋20	＋4	▲8	＋1	▲9	***＋14***	＋3	＋14	＋1	＋11
	米国	4.372	＋13	＋23	＋5	▲28	▲13	▲16	＋36	▲26	＋31	▲2	＋8
	イギリス	4.269	▲59	＋5	▲2	▲17	▲14	▲22	＋14	▲16	＋13	▲3	＋7
	ドイツ	3.176	▲84	＋8	＋3	▲23	▲6	▲20	＋11	▲14	＋5	▲6	＋9
	スイス	1.907	▲69	＋10	＋2	▲7	▲26	▲4	**▲2**	▲7	＋1	▲1	＋9
	スウェーデン	3.110	▲122	＋14	＋7	▲36	▲13	▲26	＋6	▲6	＋5	▲5	＋7
	ポーランド	4.777	**▲210**	＋13	＋6	＋7	▲44	**▲45**	＋23	▲17	▲2	**▲9**	***＋26***
	カナダ	3.937	▲77	＋9	**▲3**	▲18	▲17	▲22	＋12	▲8	＋18	▲1	＋6
	メキシコ	8.803	▲134	**＋1**	＋18	＋8	**▲98**	▲21	＋4	**▲63**	**▲24**	＋3	＋0
	ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ	5.876	▲29	＋20	＋1	**▲36**	▲14	＋3	▲1	▲7	＋23	▲3	＋19
	オーストラリア	5.353	▲18	＋22	▲1	▲33	▲17	▲7	＋2	▲8	＋32	＋2	＋19
	韓国	5.191	***＋105***	＋21	＋8	▲16	▲27	***＋45***	＋23	▲19	＋28	***＋11***	**▲22**
	シンガポール	2.900	▲44	＋6	＋5	▲27	▲24	▲1	＋0	＋20	＋3	▲2	▲7
	タイ	5.871	＋103	***＋87***	***＋60***	▲21	***▲2***	▲33	***＋60***	***＋32***	***＋40***	＋3	＋6
	インド	7.146	＋56	＋12	＋5	***＋66***	▲33	▲13	＋8	＋12	＋0	＋3	＋4
長短スプレッド	日本	＋129.0	▲16	＋12	＋5	▲6	＋1	▲8	＋10	＋1	＋5	＋1	＋5
	米国	＋18.9	▲137	▲11	＋3	▲16	▲10	▲17	▲2	▲6	▲4	▲7	▲7
	イギリス	＋14.0	▲5	＋8	▲2	▲1	＋7	＋3	＋4	▲9	＋4	▲1	＋4
	ドイツ	＋71.5	▲72	▲22	▲4	＋2	＋0	▲4	▲12	▲9	▲15	▲7	▲4
	スイス	＋70.6	▲79	▲13	▲6	＋8	▲22	＋8	▲11	▲12	▲13	＋4	▲7
	スウェーデン	＋91.1	▲64	▲5	＋6	▲8	▲3	＋6	▲9	▲15	▲7	▲6	▲2
	ポーランド	＋41.5	＋81	＋8	＋0	＋9	▲14	＋9	＋17	＋10	＋4	▲3	＋13
	カナダ	＋58.6	▲77	▲24	▲2	＋1	▲7	▲8	▲9	▲4	▲17	▲7	▲6
	メキシコ	＋30.3	▲96	＋26	＋7	▲10	▲36	＋7	＋2	▲14	＋8	＋6	＋8
	ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ	▲23.4	▲12	▲5	▲0	▲13	▲3	＋4	＋8	▲3	＋1	▲4	＋5
	オーストラリア	＋6.9	▲30	＋0	▲1	＋2	▲11	▲3	＋3	＋4	＋4	▲0	＋4
	韓国	＋52.6	▲1	▲24	▲0	▲1	▲16	＋12	＋6	▲10	▲18	▲4	▲16
	シンガポール	＋62.0	▲113	▲16	＋8	▲26	▲23	＋11	▲7	＋19	▲25	▲8	▲12
	タイ	＋165.6	▲79	＋41	＋26	▲22	▲8	▲44	＋20	＋3	＋24	＋1	＋8
	インド	＋100.7	＋13	＋1	＋1	＋40	▲18	▲16	＋15	＋7	▲5	＋0	＋1

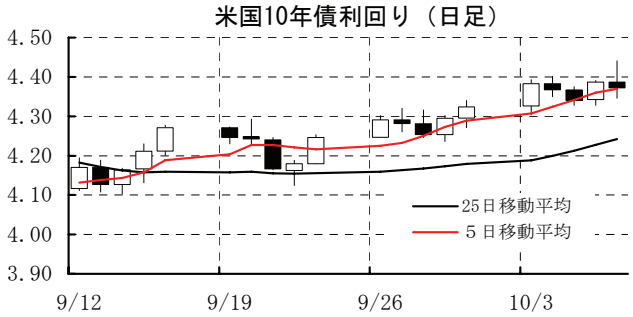
（注）「変化幅」は、直近値までの変化幅。プラスは金利の上昇を示す。
「過去の動き」は当該期間の変化幅（例：４週前＝４週間前の週間変化幅、６カ月前＝６カ月前の月間変化幅）を示す。
直近値の単位は%、ただし長短スプレッドはbp。直近値以外の単位はbp。
網掛け太字は当該期間で最も低下幅の大きい（上昇幅の低い）金利、太斜字は最も上昇幅の大きい（低下幅の低い）金利を示す。

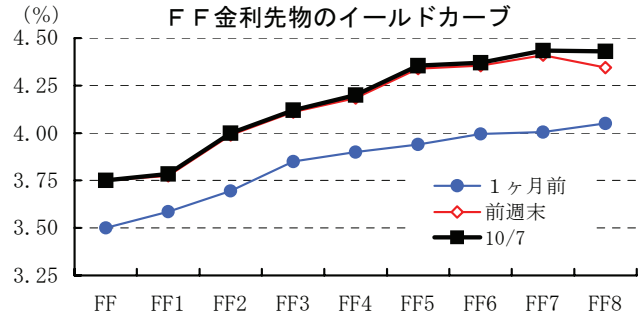
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。









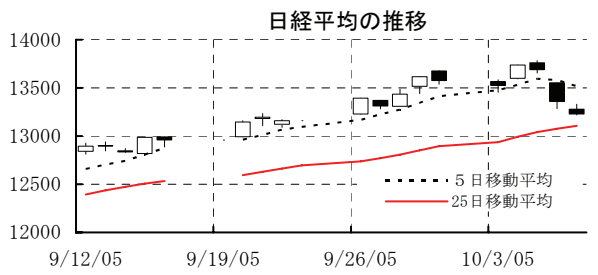


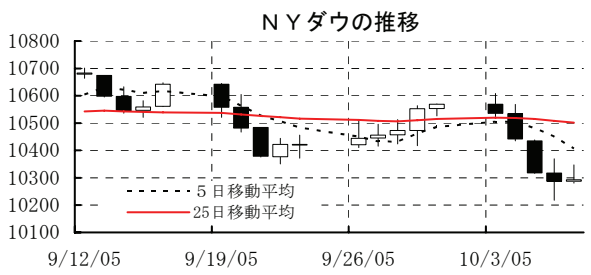
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

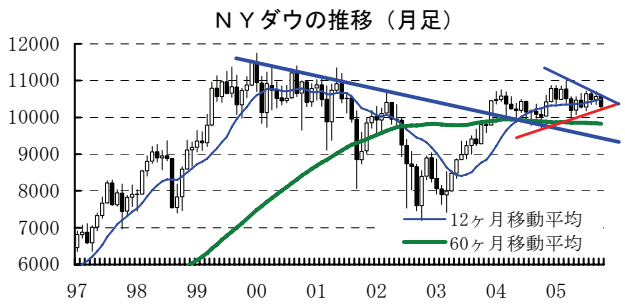
［株式市場］

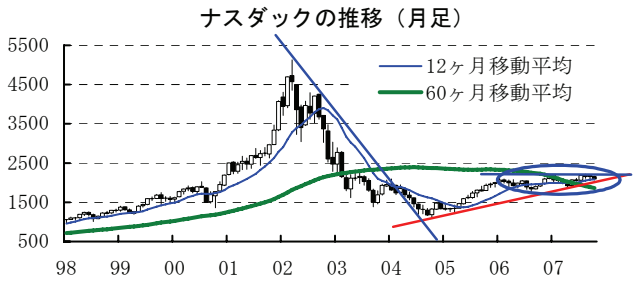
		直近値	直近までの変化率			過去の動き							
						月間						週間	
			１年前～	１月前～	前週末～	６カ月前	５カ月前	４カ月前	３カ月前	２カ月前	１カ月前	３週前	２週前
日本	日経平均	13227.74	＋16.5	＋4.9	▲2.6	▲5.7	＋2.4	＋2.7	＋2.7	＋4.3	＋9.4	＋1.5	＋3.2
	TOPIX	1372.52	＋20.2	＋6.8	▲2.8	▲4.4	＋1.3	＋2.9	＋2.4	＋5.5	＋11.1	＋2.1	＋4.1
	日経店頭	2157.01	＋21.4	＋2.6	**＋1.3**	＋1.3	▲2.0	＋3.9	＋3.3	＋1.2	＋2.0	▲0.0	▲0.8
米国	ＮＹダウ	10292.31	＋1.6	▲3.2	▲2.6	▲3.0	＋2.7	▲1.8	＋3.6	▲1.5	＋0.8	▲2.1	＋1.4
	ＳＰ500	1195.90	＋5.8	▲3.3	▲2.7	▲2.0	＋3.0	▲0.0	＋3.6	▲1.1	＋0.7	▲1.8	＋1.1
	ナスダック	2090.35	＋7.3	***▲3.8***	▲2.9	▲3.9	＋7.6	▲0.5	＋6.2	▲1.5	▲0.0	▲2.0	＋1.6
	ﾌｨﾗﾃﾞﾙﾌｨｱ半導体	461.11	＋14.3	▲2.6	▲3.0	***▲7.5***	**＋11.2**	▲2.3	**＋13.2**	▲0.1	＋0.3	▲3.0	＋3.2
イギリス	ＦＴ100	5362.30	＋14.1	▲0.1	▲2.1	▲1.9	＋3.4	＋3.0	＋3.3	＋0.3	＋3.4	＋0.1	＋1.2
ドイツ	ＤＡＸ	5007.77	＋23.9	＋0.4	▲0.7	▲3.8	＋6.6	＋2.8	＋6.5	▲1.2	＋4.4	▲2.1	＋3.3
欧州	ダウ欧州50	3204.90	＋16.6	＋0.5	▲1.7	▲1.7	＋4.2	＋3.5	＋3.4	▲0.8	＋4.7	▲0.5	＋2.0
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	ｽﾄｯｸﾎﾙﾑOMX	888.13	＋22.8	＋2.8	▲0.9	▲2.7	＋5.7	＋3.8	＋5.0	▲1.7	＋5.5	▲0.3	＋3.0
ﾎﾟｰﾗﾝﾄﾞ	ﾜﾙｼｬﾜWIG	32700.71	＋27.1	＋2.5	▲3.3	▲5.3	＋3.6	＋5.9	＋7.5	＋3.0	＋7.8	▲0.1	＋1.7
ロシア	ＲＴ	949.12	＋37.8	**＋9.5**	***▲5.8***	＋0.2	＋0.6	＋4.8	＋10.3	**＋12.9**	**＋14.6**	＋4.6	＋4.4
メキシコ	ボルサ	15447.59	＋39.2	＋1.3	▲4.2	▲2.8	＋5.2	＋4.0	＋6.8	▲1.2	＋13.2	＋1.4	＋3.0
ブラジル	ボベスパ	29972.99	＋24.3	＋3.9	▲5.1	▲6.6	＋1.5	▲0.6	＋4.0	＋7.7	＋12.6	**＋5.0**	**＋0.9**
ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ	メルバル	1655.90	＋45.2	＋3.0	▲2.3	▲3.7	＋10.2	***▲8.0***	＋10.3	＋4.9	＋7.2	＋1.9	＋2.2
ＮＺ	ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞSX50	3400.25	＋19.1	＋1.0	▲1.5	▲1.9	＋1.7	＋7.0	＋3.5	▲0.2	＋3.0	▲0.8	＋1.3
ｵｰｽﾄﾗﾘｱ	ＡＳ200	4440.60	＋20.0	▲1.1	▲4.3	▲3.1	＋3.1	＋4.2	＋2.6	＋1.3	＋4.4	＋0.2	＋1.7
香港	ハンセン	14847.79	＋11.5	▲2.5	▲3.8	**＋2.9**	▲0.3	＋2.4	＋4.8	＋0.2	＋3.5	＋1.1	＋1.9
韓国	総合	1201.01	＋35.7	＋5.1	▲1.6	▲5.6	＋6.5	＋3.9	＋10.2	▲2.5	＋12.7	＋0.1	＋3.8
台湾	加権	6081.84	▲0.3	▲1.0	▲0.6	▲3.1	＋3.3	＋3.8	＋1.1	***▲4.4***	＋1.4	▲1.8	＋3.3
ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ	ＳＴ	2305.24	＋14.9	＋0.4	＋0.0	▲0.8	＋1.7	＋2.4	＋6.3	▲3.3	＋1.3	▲0.6	＋0.5
タイ	ＳＥＴ	708.98	＋5.8	＋0.1	▲2.0	▲3.3	＋1.3	＋1.2	***＋0.0***	＋3.3	＋3.6	＋2.4	▲0.3
インド	ﾑﾝﾊﾞｲSENSEX30	8491.56	**＋47.1**	＋6.9	▲1.7	▲5.2	＋9.1	**＋7.1**	＋6.1	＋2.2	＋10.6	▲1.9	＋5.0
中国	上海Ａ	1214.01	***▲17.1***	▲3.3	＋0.0	▲1.9	***▲8.5***	＋2.0	＋0.3	＋7.3	***▲0.7***	***▲5.0***	***＋0.3***

（注）「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは株価の上昇を示す。
「過去の動き」は当該期間の変化率（例：４週前＝４週間前の週間変化率、６カ月前＝６カ月前の月間変化率）を示す。
直近値以外の単位は%。
網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい（下落率の低い）株価、太斜字は最も下落率の大きい（上昇率の低い）株価を示す。







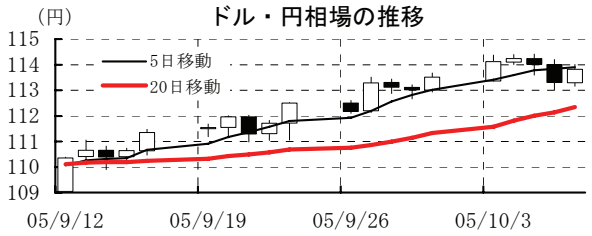


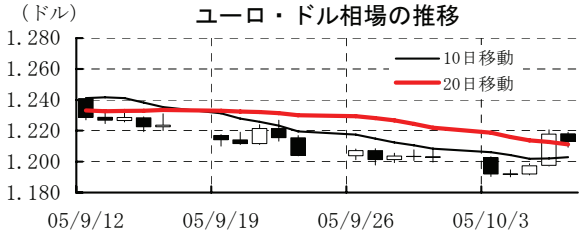
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

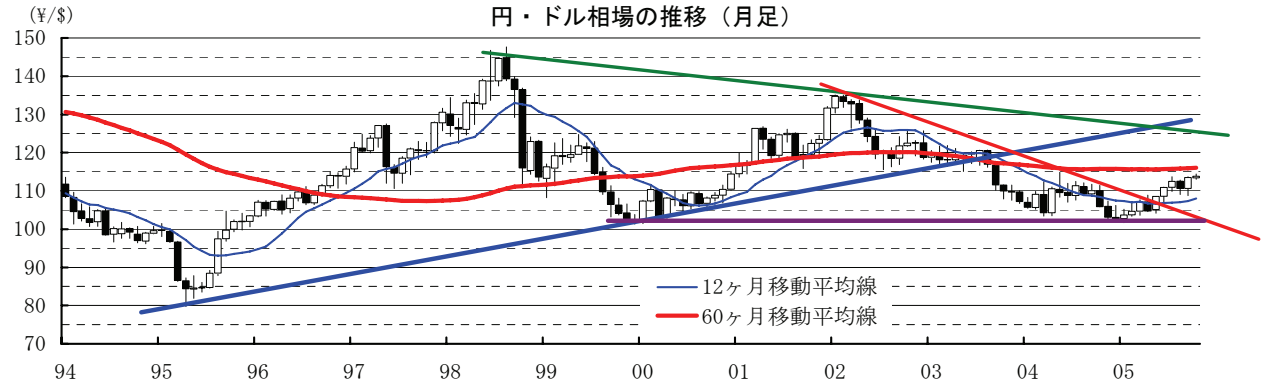
［為替］

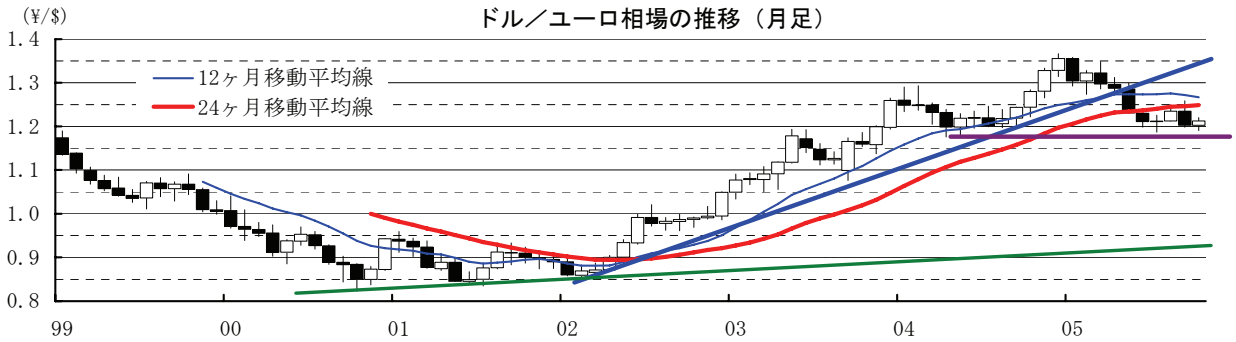
	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
					月間						週間	
		１年前～	１月前～	前週末～	６カ月前	５カ月前	４カ月前	３カ月前	２カ月前	１カ月前	３週前	２週前
日本円	113.82	▲2.3	▲3.4	▲0.3	＋2.2	▲3.6	▲2.2	▲1.4	＋1.7	▲2.6	▲1.0	▲0.9
ユーロ	1.2129	▲1.3	▲2.3	＋0.9	▲0.7	▲4.4	▲1.6	＋0.1	＋1.8	▲2.6	▲1.6	▲0.1
イギリスポンド	1.7614	▲1.2	***▲4.1***	▲0.2	＋1.0	▲4.8	▲1.4	▲1.9	＋2.6	▲2.2	▲1.8	▲0.6
スイスフラン	1.2778	▲1.0	▲2.8	＋1.2	＋0.1	▲4.5	▲2.7	▲0.6	＋2.8	***▲3.3***	▲1.8	▲0.1
スウェーデンクローナ	7.695	▲4.7	▲2.6	＋0.6	▲3.3	▲5.2	***▲5.0***	＋0.5	＋2.7	▲2.5	▲2.0	＋0.6
ポーランドズロチ	3.216	＋8.8	▲1.0	＋1.4	***▲7.5***	***▲7.2***	＋1.4	▲0.6	**＋3.2**	▲0.4	▲1.4	***▲1.3***
ロシアルーブル	28.494	＋2.5	▲0.9	＋0.0	▲0.7	▲1.3	▲1.4	＋0.0	＋0.5	▲0.1	▲0.5	＋0.0
カナダドル	1.1743	＋6.9	＋1.2	▲1.0	▲4.0	＋0.3	＋2.4	＋0.1	＋2.9	＋2.1	＋0.8	＋0.6
メキシコペソ	10.794	＋4.4	▲0.5	▲0.3	▲0.7	＋2.6	＋1.2	**＋1.4**	▲1.5	▲0.1	＋0.0	＋0.8
ブラジルレアル	2.250	**＋20.6**	＋3.2	***▲1.0***	▲3.2	**＋10.2**	**＋3.1**	▲2.0	＋0.9	**＋5.5**	**＋1.5**	**＋1.6**
アルゼンチンペソ	2.937	＋0.8	▲1.1	▲1.0	＋0.7	＋1.2	▲0.2	＋0.9	▲1.8	＋0.1	＋0.1	＋0.0
ＮＺドル	0.696	＋3.1	▲1.2	＋0.6	▲2.1	▲1.0	▲1.0	***▲2.4***	＋2.3	▲0.7	***▲2.4***	＋0.5
オーストラリアドル	0.7570	＋4.0	▲1.1	▲0.7	＋1.1	▲3.3	＋0.9	▲0.8	▲0.2	＋0.9	▲1.3	＋0.6
韓国ウォン	1037.50	＋10.0	▲1.5	＋0.5	▲0.9	＋0.5	▲2.6	＋0.7	▲0.7	▲0.8	▲0.7	▲0.5
台湾ドル	33.230	＋2.0	▲1.8	▲0.1	▲1.4	＋0.5	▲0.8	▲0.7	▲2.9	▲1.3	▲0.7	▲0.0
シンガポールドル	1.6836	＋0.4	▲0.4	＋0.5	＋0.8	▲1.8	▲1.1	＋1.3	▲1.1	▲0.6	▲0.2	▲0.4
タイバーツ	40.84	＋1.3	＋0.4	＋0.5	▲0.8	▲3.0	▲1.7	▲0.8	＋0.9	＋0.6	▲0.2	＋0.2
インドネシアルピア	10048	***▲10.4***	**＋3.5**	**＋2.4**	▲2.5	▲0.5	▲2.5	▲0.5	***▲5.0***	＋0.0	▲0.7	▲0.8
インドルピー	44.40	＋3.2	▲1.3	▲0.9	▲0.1	＋0.1	＋0.5	＋0.0	▲1.5	＋0.3	▲0.1	▲0.2

（注）為替レートは全て対ドルレート。ただし、ユーロ、豪ドル、ＮＺドルは当該通貨から見たドル建て。
「変化率」は、直近値までの変化率。すべてプラスは当該通貨の増価を示す。
「過去の動き」は当該期間の変化率（例：４週前＝４週間前の週間変化率、６カ月前＝６カ月前の月間変化率）を示す。
直近値以外の単位は%。
網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい（下落率の低い）通貨、太斜字は最も下落率の大きい（上昇率の低い）通貨を示す。







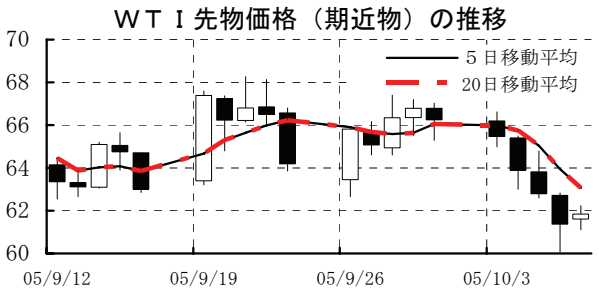


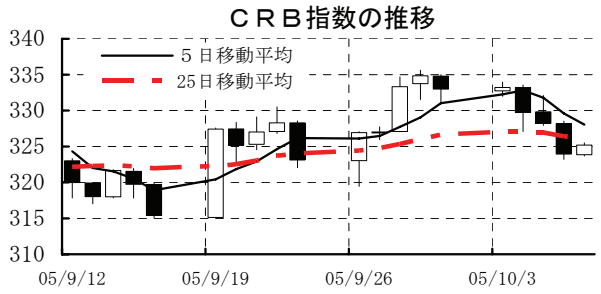
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

［商品］

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
					月間						週間	
		１年前～	１月前～	前週末～	６カ月前	５カ月前	４カ月前	３カ月前	２カ月前	１カ月前	３週前	２週前
ＷＴＩ	61.84	＋16.0	▲3.9	▲6.6	***▲10.3***	＋4.5	＋8.7	＋7.2	**＋13.3**	**▲3.5**	＋1.9	＋3.2
北海ブレント	59.21	＋19.1	▲5.9	▲6.7	▲5.9	▲0.7	＋9.6	＋6.8	＋12.9	▲5.3	＋1.0	＋1.7
ドバイ	53.16	**＋39.6**	▲7.8	***▲7.5***	▲0.4	▲2.3	**＋17.4**	＋4.1	＋10.8	▲3.8	＋1.3	＋0.0
ＯＰＥＣバスケット	54.27	＋20.4	▲8.1	▲6.7	▲4.6	▲0.6	＋9.3	＋4.2	＋12.7	▲5.0	▲1.0	▲0.7
金（ＮＹ）	474.7	＋12.2	＋6.5	＋1.2	＋1.7	▲4.5	＋5.0	***▲1.6***	＋1.2	＋7.8	＋0.8	＋1.1
銅（ＮＹ）	189.55	＋28.6	＋10.3	**＋5.2**	▲1.2	＋0.8	＋3.2	＋8.6	＋0.9	＋5.8	**＋7.5**	＋0.2
アルミ（ＮＹ）	88.80	***▲2.7***	＋3.3	＋2.5	▲8.9	***▲5.2***	▲2.4	＋8.1	▲0.3	＋1.1	＋3.2	＋0.3
小麦（シカゴ）	338.00	＋11.5	**＋11.4**	▲2.4	▲3.9	＋4.3	▲3.1	＋1.9	▲8.0	＋14.8	＋2.9	**＋3.8**
大豆（シカゴ）	165.30	＋5.2	***▲10.6***	▲1.1	**＋4.0**	**＋10.4**	▲3.6	＋2.6	▲14.1	▲8.3	***▲1.3***	***▲2.4***
コーン（シカゴ）	202.50	▲1.0	▲0.9	▲1.5	▲3.9	＋8.4	***▲4.4***	**＋11.4**	***▲14.8***	***＋2.0***	＋0.5	▲0.8
ＣＲＢ	325.21	＋13.1	＋0.3	▲2.3	▲3.1	▲1.0	▲0.3	＋4.0	＋5.6	＋1.1	＋2.4	＋3.1
ＪＯＣ	121.44	＋4.6	＋1.7	▲0.8	▲2.9	▲2.8	▲1.4	＋0.2	＋5.5	＋6.7	＋1.0	＋1.0
日経商品指数（17種）	109.95	＋1.9	＋1.5	＋0.4	***▲0.9***	▲0.0	＋0.6	＋1.2	＋0.3	＋1.0	＋1.0	＋0.3
日経商品指数（国際）	108.79	＋23.4	▲0.4	▲0.5	▲0.4	▲3.2	＋3.1	＋4.5	＋2.9	＋2.5	＋2.3	＋0.0

（注）「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは商品価格の上昇を示す。
「過去の動き」は当該期間の変化率（例：４週前＝４週間前の週間変化率、６カ月前＝６カ月前の月間変化率）を示す。
直近値以外の単位は%。
OPECバスケット、日経商品指数（国際）は木曜日、日経商品指数（17種）は水曜日の値。
網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい（下落率の低い）商品、太斜字は最も下落率の大きい（上昇率の低い）商品を示す。





本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。